

## 第2次千葉市文化芸術振興計画 事業視察シート

視察者

桜井 まどか

|       |                                    |                     |
|-------|------------------------------------|---------------------|
| 基本施策名 | 基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」          |                     |
|       | (2)参加・体験活動の推進                      |                     |
| 事業名   | こども育成事業『0さいからのエンタメ2022 ポポバルの森の王子様』 |                     |
| 実施主体  | 指定管理者                              | (名称) ちばアートウインド運営企業体 |
| 会場    | 千葉市若葉文化ホール                         |                     |
| 日時    | 令和4年1月29日(土) 10時30分 ~ 11時40分       |                     |

【チェックポイント】 ※以下の点に着目して評価してください。

| 評価指標 2 戦略的な視点・基本姿勢との適合 |  |
|------------------------|--|
| (1)市民主体                | <input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> ほぼ妥当 <input type="checkbox"/> 工夫により改善 <input type="checkbox"/> 見直し<br>(評価の理由) バルーンパフォーマーのポポバルーンの活動理念「バルーンで笑顔にカラフルに!」と、冒頭出演の同ホールで活動中のチアリーディングサークル・わかばディベアーズは、コロナ禍で制限されている行動や感情に対し、パフォーマンスによって、明るく大らかに応援メッセージが発せられた。幼児・児童が文化芸術に親しむと同時に、チア・アクトで自らも壇上で表現者として関わるなど、ふたつの団体でありながら進行上にも無理ない連携と協働が行われた。こども育成事業ではあるが、保護者や指導者なども含めた市民が当日開催に向けて関わっていると感じられた。   |
|                        | <input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> ほぼ妥当 <input type="checkbox"/> 工夫により改善 <input type="checkbox"/> 見直し<br>(評価の理由) 0歳児から幼児・児童に向けて、出演者のセリフとストーリーが前向きで相応しかった。オープニングアクトの「わかばディベアーズ」と「ポポバルーン」によるパフォーマンスで合計40分間と、対象年齢のこどもたちが舞台に集中可能な時間でコンパクトにまとめられていた。舞台上上がり出演者とのコミュニケーションや、バルーンに触れるなど予定されていた進行がコロナ禍にて出来なくなった点が最初にきちんと伝えられ、現状に合わせて演目の変更がなされていたことが分かった。座席の背もたれや手すりなどが木製で温もりがあり、角がすべて大きく丸く整えられていて安心な環境だった。   |
| (3)領域の広がり              | <input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> ほぼ妥当 <input type="checkbox"/> 工夫により改善 <input type="checkbox"/> 見直し<br>バルーン作品は千葉のキャラクター・チーバくん(千葉県)、風太くん(千葉市動物公園)、うなりくん(成田空港)の3体が制作によって千葉市開催の特色も表現された。イベント後に作品群は若葉文化ホールのエントランスで展示された。当イベントは令和3年1月の有観客公演中止から1年延期後の開演で、当初の予定に調整と工夫を加えながら開催に至ったことが伺える。チラシのQRコードからは文化ホール公式サイト内ブログやツイッターを読み込み、事前・事後の情報掲載が得られた。検索の際も画像付き投稿は目にとまりやすいものだった。Youtube配信では美しい映像でパフォーマンスを試聴でき、当日観覧できなかった親子にとっても効果がある。アーカイブが存在することで、年間を通しての取り組みが感じられる。 |

### その他(評価すべき点・改善すべき点・気づいた点など)

※評価指標1(3)他の基本施策への波及に該当する取組が見受けられた場合はこちらに記載してください。当日はコロナ対策として約50%の収容人数とし、空席は出演者ロゴが印刷され、背もたれに貼られていた。空席が目立たないための主催側から演者への配慮でもあり、モチベーション・アップにもつながる。さらに同線上で使用不可のシートにはロープで閉じてあるなど、照明を落とした環境でも分かりやすかった。